

第 8 8 0 回

定例教育委員会会議録

日 時 令和 2 年 1 2 月 2 2 日 (火) 1 5 : 3 0 ～

場 所 益田市役所 第 2 会議室

益田市教育委員会

第 8 8 0 回 教育委員会定例会

招集年月日 令和 2 年 1 2 月 2 2 日（火） 1 5 時 3 0 分～

招 集 場 所 益田市役所 第 2 会議室

議 事 日 程

第 1 会議録の承認

第 2 教育長報告

第 3 議題

議第 2 2 号 益田市指定文化財の指定名称等変更について

報第 4 3 号 益田市立高津学校給食センター学校給食調理業務事業者選定公募
型プロポーザルの結果について

報第 4 4 号 物損事故に係る損害賠償について

報第 4 5 号 益田市学校給食における金属片混入について

報第 4 6 号 第 5 4 4 回益田市議会定例会一般質問について

報第 4 7 号 令和 2 年度益田市一般会計 1 2 月補正予算について

第 4 その他

(1) 情報提供

- ・令和 2 年度日本遺産出前講座・出前授業（研修会）の実施状況について
- ・学校給食での「松永牛」の提供について
- ・令和 2 年度益田市成人式の開催について

(2) その他

出席者

教育委員会

教 育 長
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員
教 育 委 員

柳 井 秀 雄
中 野 純
舟 橋 道 恵
村 上 三恵子
梅 津 富美子

事務局職員

教 育 部 長
ひとづくり推進監
教 育 総 務 課 長
学 校 教 育 課 長
学 校 教 育 課 参 事
文 化 財 課 長
社 会 教 育 課 参 事
美 都 分 室 長
匹 見 分 室 長
教 育 総 務 課 長 補 佐
教 育 総 務 課 主 任

野 村 美夜子
大 畑 伸 幸
長 嶺 勝 良
田 原 啓 文
森 脇 達 也
山 本 浩 之
岡 崎 賢 一
中 島 純 子
齋 藤 一 臣
齋 藤 勝 義
中 田 香 織

柳井教育長 ただいまより第８８０回益田市教育委員会定例会を始めさせていただきます。よろしくお願いします。

それでは、議事に入ります前に、平成２８年１２月２６日から令和２年１２月２５日の任期をもちまして、舟橋委員が退任されます。教育委員会の様々な議題に対しまして、これまでに学んで培われてきましたこと、経験から意見を述べていただき、非常に建設的な意見をいただきまして、教育委員会事業等がスムーズに行えたのではないかと思います。大変長い間ありがとうございました。

なお、後任につきましては、１２月議会において大庭隆志氏が務めることになりましたので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが議事に入らせていただきます。

第１ 会議録の承認

柳井教育長 会議録の承認につきましては、先ほどご承認いただきました。

第２ 教育長報告

柳井教育長 続きまして、２番目の教育長報告に移らせていただきます。

８日になりますが、益田ライオンズクラブ熊鈴贈呈式がありました。益田ライオンズクラブは来年度が認証６０周年記念ということで、全国的にもそうですが、県内での熊の被害が多くありますので、是非、熊除けの鈴を子どもたちに寄贈したいということでした。

ライオンズクラブから５００個の鈴をいただき、主に中山間地の学校に貸し出すことにしております。

なお、市内に出た場合は、必要な地域の子どもたちに貸し出すこととしております。あくまで貸与ということで、各学校で管理していただき、卒業時には返却していただくようお願いをしております。

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員 ＝全員了承＝

第３ 議題

○議第２２号 益田市指定文化財の指定名称等変更について

柳井教育長 それでは、これから第３の議題に移らせていただきます。

議第２２号益田市指定文化財の指定名称等変更について、事務局よりお願いします。

山本課長 益田市指定文化財の指定名称等変更につきまして、対象文化財は、二条地区の上黒谷八幡宮に奉納されております木造座像御神体の５体になりま

す。資料の写真の左側3体が仏像で、右側2体が神像になります。これらが昭和43年に指定を受けております。

左側の仏像につきましては、指定当時から15世紀の中頃に作られたものという判断は間違いではなかったところですが、一方で右側の神像につきましては、平安時代の初め頃に作られたものという墨書書きが残っておりまして、そのまま指定の条件になっておりました。

ところが、最近の調査結果で右側の神像2体につきましては、江戸時代に作られたものであったということが判明いたしました。また、当時の指定事由につきましても、仏像の説明と神像の説明が入り混じって書かれており、整理が必要でありましたので、名称について整理した上で変更させていただきたいというところでございます。

このことにつきまして、文化財保護審議会でも11月16日付で承認をいただいております。

変更後の正式名称につきましては、阿弥陀三尊像を中心に据えて、「木造阿弥陀三尊像附木造神像2軀」という形で名称変更させていただきたいと思っております。

そして、所有者につきましても、以前は桜木山八幡宮という名称でございましたが、島根県神社庁に登録されております名称から、「八幡宮」というのが正式名称となっておりますので、これに変更させていただきたいと思っております。

指定事由につきましては、阿弥陀三尊像は制作年の判明する事例であるとともに、室町時代における神仏信仰を物語る貴重な作例であり、これらとともに、江戸時代の作である神像2軀がご神体として伝来してきたもので、中世から近世を通じた、地域における人々の信仰の在り方を伝える好事例であるという理由に変更させていただきたいと思っております。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件について承認いただけます方は挙手をお願いします。
＝全員挙手＝

○報第43号 益田市立高津学校給食センター学校給食調理業務事業者選定公募型プロポーザルの結果について

柳井教育長

それでは続いて、報第43号益田市立高津学校給食センター学校給食調理業務事業者選定公募型プロポーザルの結果についてお願いします。

長嶺課長

高津学校給食センターが平成28年度に稼働してからの5年間について、調理業務を益田クッキングフーズに委託してまいりました。当時は、プロポーザルを行って、3者の応募があった中で、クッキングフーズを選考して、5年間が経過しましたが、5年が経つというところで改めて今後5年間の調理業務について、公募型のプロポーザルを実施しました。

問い合わせは複数者からありましたが、実際に応募されたのは、益田クッキングフーズ1者のみでした。

選定委員会を開催し、その中に保健所の衛生指導課長にも入っていただきまして、衛生面からも様々な意見をいただき、一定の評価をさせていただきました。評価した点として、特に、来年6月から全ての食品に関わる企業に義務付けられるHACCPについて、5年前から確立されており、今年4月からは、国際安全規格ISO22000を取得して、いろいろ研修を積んだ職員の方が高津の調理場内で作業されております。そういったところで、食品衛生管理に対する取組姿勢というものを評価しております。

また、クッキングフーズとして、高津学校給食センターに専任の栄養士を2名配置して、学校給食運営側の栄養士とともに、地産地消などの協力体制も取っていききたいという点について評価をされました。

委託金額につきましては、1年間で1億4,520万円、現在よりも880万円の増額になります。主な増額の理由は、この5年間で人件費が増えてきているということがあります。

契約期間につきましては、令和3年4月から令和8年3月31日までになります。

調理食数につきましては、現時点ではありますが、1日当たり教職員、児童、生徒を合わせて3,900食を提供していく予定です。年間の業務従事日数は215日になります。受配校は、小学校12校、中学校7校です。主食、副食、卵アレルギー対応食の調理を従来どおり行っていただきます。

以上、引き続いて益田クッキングフーズに調理委託をお願いしていくというになりますので報告させていただきました。

中野委員

委託金額についてですが、委託期間が5年間ということで、今後物価の上昇であったり、人件費の部分についても、もし高騰する場合は、委託金額の増額などが考えられるのでしょうか。あるいは、学校を休校にせざるを得ない事態があれば、学校給食を止めることも想定されると思いますが、こういった時は逆に委託金額は減額になるのでしょうか。

長嶺課長

委託金額につきましては、基本的に固定になりますが、世の中の変動が大きくなった場合、例えば人件費に限らず、他の要件も法律が変わって、どうしても見直す必要がでてきた場合は金額の変更をしていくことは考えられます。

人件費の部分についても、5年間でどうなっていくかというところがありますが、基本的に下がったから下げるということはなかなか難しいにしても、発注する側の積算見込みにおいても、人件費は5年間、一定程度伸びていくという見込みを含めて提案した金額になりますので、何事もなければ、およそ超えることはないだろうということが一つと、学校の臨時休

校という部分につきましては、年間の業務従事日数が215日以内というところで、多小の前後というのは、この中で整理をしていくという話も、この5年間もしてまいりましたので、引き続いてこういった中で対応していくことになると思います。

中野委員
柳井教育長
教育委員

ありがとうございます。
それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

○報第44号 物損事故に係る損害賠償について

柳井教育長 続きまして、報第44号物損事故に係る損害賠償についてお願いします。
長嶺課長

10月30日15時頃、戸田小学校の体育館側の駐車場で、職員の駐車場代わりにしているところですが、屋根から瓦が落ちたのではないかなというような、車に何かがぶつかるような音がしたということで、教職員の方が見たところ、屋根をふいている瓦の破片が、教職員の自家用車の付近に落ちており、バンパーの一部が損傷しているということがありました。

5センチ程度の瓦が落ちていたということで、教育委員会、ご本人、全国市長会と協議をした上で、賠償金をお支払いいたしました。

この屋根については、毎年、梅雨に入る前、台風シーズン前に、教育委員会の営繕員が屋根に上がって点検確認をしているところですが、このたび何かの影響で突然割れたという新しいものではなく、以前割れていたものが、雨樋に引っかかっていたものが落ちたりしたのではないかなということを確認しております。屋根に上がって点検等をして、必要な修繕作業を行って行いましたが、引き続き行っていくことで今後も対応していきたいと考えております。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

○報第45号 益田市学校給食における金属片混入について

柳井教育長 続きまして、報第45号益田市学校給食における金属片混入についてお願いします。

長嶺課長

皆様方にはすでに電話でお伝えさせていただいた件になります。

11月24日火曜日に益田小学校の5年生の男子児童が、盛り付けられたきんぴらゴボウの中に金属片を目視で発見し、先生に報告しております。きんぴらゴボウの喫食については中止いたしました。

その後、13時25分に太さが1ミリ、長さが1.5センチの金属片の現物を確認しました。資料に写真も添えております。先端が少し曲がった

形のものでした。調理場の中も含めて、原因となる調理機器、調理用具類等が想定できませんでしたので、調理場内を一斉に点検しましたが、原因がそれでも分からないということで、翌日の給食は停止してしました。保護者へ文書を送って、報道発表もさせていただきました。

24日16時10分から、保健所が調理場内の立入調査を行いました。保健所、教育委員会、委託業者のクッキングフーズで、原因究明のため、調理機器、調理用具類全て確認を行いました。当日の作業工程の手順も全て一から確認を行いました。18時半まで場内調査を行いました。この段階で損傷箇所や異常などは一切ないという確認をいたしました。

翌日は、午前中から委託業者が再度、場内一斉の再点検を行いました。目を変えながら、調理の機器、調理用具類の確認、当日の作業手順の確認を再度実施しましたが異常は発見できませんでした。

また、保健所と教育委員会の協議で、場内の調理機器、調理用具類等に異常がない、作業工程中に想定される原因についても、検証を行った結果、場内での安全性が確認できるという判断に至りました。これをもって、市長、副市長、教育長協議によって、保健所の見解も含めて、26日木曜日以降の給食を再開することを決定しました。

この日の午後からも、再々度ということで委託業者に場内の点検をしていただき、夕方に市長、教育長が高津学校給食センターを訪問し、給食再開の報告を行いました。

この金属については、成分検査を島根県環境保健公社に依頼しました。結果としては、ステンレス製で、ニッケルを含むようなものだったということでしたが、具体的なものについては答えをいただいております。ただ、ダブルクリップのようなものであり、この成分もステンレスとニッケルであるということが分かりました。絶対にこれかと言われると、分かりませんし、こういったものが調理場内にあるということもあります。

今後につきましては、全体的に注意喚起をしているところですが、改めて、食材の納品、調理の過程、それから給食を配送すること、学校に着いて教室まで届ける過程、教室内での配膳、それぞれのリスクを回避するという部分で、全体的な意識啓発を再度徹底していきたいということ、またそれぞれのところで皆さんが一生懸命取り組まれているところですが、横のつながりを持って、衛生管理の研修も保健所が主導して実施したいと考えております。

あわせまして、高津学校給食センター建設稼働後5年が経過します。保健所が立入調査等をする際に、機器の損耗があるようなものについて意見をいただいておりますので、状態を確認して、改めて5年が経つというところで変えるべきものは変えていくという考え方で対応していきたいと考えております。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。
＝全員了承＝

○報第４６号 第５４４回益田市議会定例会一般質問について

柳井教育長

続きまして、報第４６号第５４４回益田市議会定例会一般質問について
お願いします。

野村部長

それでは、一般質問の概要についてご報告いたします。

今回、１４名の議員が質問に立たれました。

それではまず、１番目に寺井良徳議員から質問をいただきました。質問の要旨は、史跡益田氏城館跡整備基本計画について、これからどのように整理していくのかということでした。回答の概要としましては、整備期間も長期化を余儀なくされますし、経費も大変かかる事業でございますので、何から始めていくかという優先順位を図りながら検討していきたいとお答えしたところです。

お気づきの方もいらっしゃると思いますが、コンクリートの構造物の一部は、見える部分だけは先週から少しずつ撤去を始めております。地下遺構に影響しない範囲で少しずつ進めたいと思っております。

あわせて、日本遺産認定というものを経費として益田氏城館跡整備にも取り込んで進めていくことはできないのかというご質問でございましたが、それについては難しいですとお答えさせていただきました。

次に、三浦智議員です。教育行政についてということで、広くご質問をされました。

まず、新型コロナウイルス感染症のことも引き合いに出されながら、この間どのような変化があったかというところを聞かれました。学び合いというところと３密との整合性が取れないというところで難しかったということ、公民館活動も否応なく制限がかかったという話をさせていただきました。

そして、学力育成について、埼玉県方式の学力テストを今年度から導入いたしました。それについては、前回の教育委員会で報告をしたところではございますが、この１２月議会の委員会の中で報告しましたので、一般質問には間に合わなかったというところもありご質問をいただきました。比較のデータはまだできませんが、今後の活用を図っていきたいとお答えしております。

そして、家庭学習時間の状況や点検・評価書の活用についてもご質問をいただきました。家庭学習時間については、確かに少ない傾向にありますが、この埼玉県方式学力テストの結果を見ますと、少し改善の傾向も見られるということも報告させていただきました。

点検・評価の活用については、良い意見をいただいても、それが活かされているのかという質問でしたので、今後、教育審議会にこの点検・評価の内容を報告し、意見をいただこうと考えておりますので、その旨を回答いたしました。

G I G Aスクール構想については、まだ納入されていないところではございますが、どのような契約内容になっているのかというところも踏まえてご質問されました。基本的には国の標準仕様書に沿ったものですが、教職員の負担軽減というところも踏まえて、学習支援ソフトを小学校用には入れているということをお答えしました。

また、子どもたちが撮った写真や、作成したデータは容量も大きくなるということもありますので、パブリッククラウドの使用を前提として考えているということもお答えしております。

そして、教職員の研修が必要ではないかという質問については、そういったことも取り組んでいきたいと回答いたしました。

7月補正で200台を先行して買いました。その200台については、既存の台数も合わせて、モデル校5校で先行的に使用しております。家庭にも持ち帰って、今後各学校でどのように授業で展開できるのかというところも織り込みながら使用しており、また集約していきたいと思っております。

次に、中島賢治議員からのご質問です。これもG I G Aスクール構想と基本的な通信環境整備について質問がありました。通信環境については課題が非常に大きいです。多くの台数を使うと動かなくなるという根本的な問題があり、どのように対応していくのかという質問もありました。市内中心部に近い学校は、光回線が使える環境を取りあえず整備しようと思っております。基本的に今益田市が敷設しております光ケーブルへの負荷を少なくすることで、各学校の通信環境を良くしていきたいと思っております。そういったことを回答いたしました。

また、プログラミング教育についてもご質問がありました。今、ライフイズテック社と一緒に進めているプログラミング教育について、今後どのように進めていくのかという質問でしたので、今年度については経済産業省の補助事業を使うことで、経費がかからずにできていますが、来年度以降につきまして経済産業省の事業が継続されるのかどうかも含めて、動向を注視していきたいと回答いたしました。

次に永見おしえ議員からは、SDG sに関する連携ということで質問がありました。教育の概要や取組方針において、よりよい社会をつくろうとする夢や志という自分軸を持った人間力の育成という言葉で、SDG sと同様な表現をしているということをお答えしました。

次に、E S D持続可能な開発のための教育についてのご質問ですが、現

在、「クールチョイス活動」を進めています。身近な体験としては、食べ残しを少なくする、家でも節電をするといったことです。こういった活動を子どもたちが行って、周りに伝えていく、アンバサダーとして活躍するということを数年前から取り組んでおりますので、そういったことをお話しさせていただきました。

それから、河本議員からは、匹見小中学校の同一校舎による学校運営について質問がありました。来年3月から同一校舎運営とすることが決定したところですが、これに向けてどのように進めるかというところを聞かれました。校舎の改築も、新年度の予算化に向けて動いているところです。また、子どもたちへの対応として、ノーチャイムでの活動をしていくということで、小学校と中学校では授業一コマの時間が異なりますので、そういったものもあらかじめ取り組んでおります。地域の理解を得ながら、進めていきたと思っておりますが、豊川小や戸田小に配置しております社会教育コーディネーターを匹見にも置くことができなかったというところに対応しているというところを回答いたしました。

それから、大賀議員からは、地域共生社会の実現に向けて、インクルーシブ教育についてどのように対応しているかというところの質問がありました。障害に対する正しい理解というところで、基本的に、これは前から教育現場で行っているところですので、そのことについて回答させていただきました。

次に、弥重議員からは益田市史の編さんについて、第6次総合振興計画の案の中に、益田市史編さんという言葉が消えており、なぜ、消えているのかというところを質問されております。基本的に、市長はその意義は理解するが、そういったことができる環境があればしっかりと対応していきたいがもう少し先になるというところをお答えされております。

次に、安達議員から子育て支援についてというところで就学援助について質問がありました。実は、コロナウイルス感染症で非常に混乱をしておりました4月当初に、県の人権同和対策課から、学校が休みになって、保護者が仕事等は休まなければいけないようになった時のための支援策についてのフロー図がメールで示されておりましたが、1日に何十件も来る大量メールの対応に追われており、少し対応が遅れました。そのことについて質問がありましたが、半月程度時間がかかりましたが、保護者への通知はしっかりとさせていただきました。

また、就学援助については、保険課と連携して進めたほうが良いというご意見をいただきました。

簡単ではございますが、12月議会の一般質問の概況を報告させていただきました。

柳井教育長

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

教育委員

=全員了承=

○報第47号 令和2年度益田市一般会計12月補正予算について

柳井教育長 続きまして、報第47号令和2年度益田市一般会計12月補正予算についてお願いします。

長嶺課長 12月議会で上げました補正予算について報告させていただきます。

まず、教育総務課からですが、学校施設衛生機能再生整備事業費についてです。小学校の感染症対策として、学校トイレの洋便器化というところを、文部科学省から追加で対応してはいかがかという話がありましたので、手を挙げましたので、高津小学校と吉田小学校は1回目は発注済みですので、2つ目についてこの事業で採択を受けました。それから、安田小学校、鎌手小学校、吉田南小学校は1つ目について採択を受けたというところに対応していきます。今年度中に終わるということは無理ですので、来年度に向けて事業を進めていきたいということで補正を行っております。

続いて学校施設照明LED化事業費です。令和3年から10年間の債務負担を組んで、事業展開をしてきておりますが、学校の教室という部分だけではなくて、利用頻度の高い学校の体育館アリーナについてもLED化に取り組んでいくということで債務負担額を増額補正しております。

続いて、小学校の学校施設管理経費です。このたび新型コロナウイルス感染症の関係でプール授業が無くなりましたので、水質検査、プールのろ過機の点検が要らなくなったり、水泳指導がなくなかったというところについて予算の減額補正を行いました。

一方で、この夏でもエアコンをかけながら窓も全開にしているという話があり、どうしても学校からすると、授業中に虫が入ってきて、スズメバチが入ってきた日には授業が止まってしまうという話があり、普通教室に網戸を2か所、設置していくということで、予算の増額をしております。

続いて、学校建設事業費です。中西小学校につきましては、工事は順調には進んでおりますが、今こうして新型コロナウイルス感染症の第3波が起きている状況ですので、行政手続上来年度に繰り越しをするという手続だけはしておくということで予算の繰り越しをしております。また、事業費の入札減などで執行額が固まったところについては減額の補正を行っております。

また、真砂小学校につきましても、中学校の跡地に造るわけですが、その裏の山に島根県が砂防ダムを造るという計画を持っています。その関係で実施設計が若干遅れているというところで、予算の繰り越しを行っております。

ちなみに、中西小学校の現在の状況は、柱が立って、瓦も載って、中の

作業に入っているということで、一気にペースが上がっている状況にあります。新型コロナウイルス感染症の影響等がなければ、3月の終わりには出来上がるという状況です。

続いて、中学校のLED化事業につきましても、体育館のアリーナの部分を行うということ、それから各学校が建設されてから、どうしても暗くなってきた部分に、電灯を増設してきているということで電灯の数が若干違うということもあり、10年間の負担行為の額を変更しております。

次に、中学校の学校施設管理経費です。これも小学校と同様でプールの授業が中止になったという部分と、中学校の普通教室にも網戸を設置していきたいというところで補正をしております。

続いて、高津学校給食センター管理運営経費です。お玉のフックが経年劣化により落ちて給食に混入したということで、フックのついたアルミ製のお玉の使用は全てやめて、ステンレス製のお玉に切り替えたというところで増額の補正をしております。以上、教育総務課でした。

田原課長

学校教育課からは4件の補正を行いました。

まず、遠隔・オンライン学習環境整備推進事業費です。先ほど部長から話がありました200台の実証事業用のタブレットになりますが、この入札減というところで減額補正をしております。

続きまして、学校運営事務費については森脇参事から説明いたします。

森脇参事

学校の役務費について、新型コロナウイルス感染症のため、実施直前で小中学校の修学旅行や宿泊体験がやむを得ずキャンセルになるというケースがありますので、それに備えた予算について計上しております。

小学校は全てこのような予算を組みましたが、宿泊体験は全て行くことができました。それから、修学旅行につきましても、小学校の場合は9校予定しておりましたが、全て行くことができまして、小学校において、現状キャンセルは発生しておりません。中学校につきましては、真砂中学校を計上しております。

真砂中学校につきましては、今月の9、10、11日、2泊3日で計画されましたが、松江、鳥取でコロナの感染の報告がありましたので、直前で1泊2日に変更されました。ところが、また出雲でも感染が確認されましたので、結果的には12月11日に雲南市に日帰りの計画を立てられまして、それを修学旅行と呼ぶかどうか難しいところではありますが、そういう変更をされて実施されました。1月、2月、3月でもし可能であれば、もう一度、遠くへ出かけたいという希望は持っておられます。

現状におきまして、中学校は1月、2月、3月で6校ほど計画をされておりますが、なかなか厳しい状況です。九州方面それから中国地方で旅行、見学するという計画を今のところ立てておられまして、関西及び東京方面への計画はされてございません。

田原課長

続きまして、小学校費の情報教育特別対策費ですが、これにつきましても、先ほどの200台以外のタブレットに関する機器の整備に関する委託料の入札減というところで、減額補正をいたしました。

引き続きまして、中学校費の情報教育特別対策費につきまして小学校費と同様にタブレットの導入に関する委託料の入札減というところで、小学校分にはソフトを入れておりますが、中学校にはそれが入っていないというところもありまして、中学校費のほうの補正額は若干多めになっておりますが、減額の補正をいたしました。学校教育課からは以上です。

大畑推進監

続きまして、社会教育課からは、まず、未来の担い手育成事業につきまして、これは県の10分の10事業になりまして、小中学校全ての子どもたちの学習履歴をポートフォリオにしてとじるという事業でございます。このたび、県支出金が採択されましたので予算の財源について組み替えております。

続きまして、文化振興事業費につきましては、かるた大会が中止となりましたので、減額になっております。

次に、雪舟の郷記念館管理運営事業費につきましては、会計年度任用職員が4月からの雇用で、継続雇用ではありませんでしたので、期末手当の金額が減額になっております。また、空調機器の故障により取り替えを行っておりますので、それらについて補正をしております。

次に、公民館管理・拠点化推進事業費です。これにつきましては匹見下公民館の進入路の石垣が崩れかけているということで、緊急対応で直すための予算について増額しております。

次に、保健体育事業負担金で、これはしおかぜ駅伝の中止に伴う減額でございます。

続きまして、保健体育事業補助金です。これも同じく紅葉ロードレース大会が中止になったということ、それからしおかぜ駅伝の益田市実行委員会の経費が必要なくなったということで減額しております。

次に、運動公園管理運営経費です。これは新型コロナウイルス感染症対策で閉館、休園等をしましたので、指定管理者に対しまして、その分の減額について補償する経費で、ただし、閉めたことで、光熱水費は減っていますので、その辺りと相殺しております。指定管理者は利用料がそのまま事業費として指定管理者の収益になるということで、こういった対応をしております。

次に、体育施設管理費につきましては、匹見中央公園のプール開設を中止にしましたので、その経費について減額しております。以上です。

柳井教育長
教育委員

それでは、この件についてよろしいでしょうか。

＝全員了承＝

柳井教育長

それでは、以上をもちまして定例会を終わりますが、この一年、委員の皆様方には大変お世話になりました。ありがとうございました。また、舟橋委員さんには大変長い間お世話になりまして、改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

次回は1月27日の9時30分から定例教育委員会を開催いたします。よろしくお願いいたします。それでは以上で定例教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

＝終了時間 16時11分＝